

高縄会の皆様へ

年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。会員の皆様にはお健やかで和やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

本年は明治150年、高縄会は本年4月の総会で創設103年を迎えます。改めて歴代会長や松山市東京事務所様並びに愛媛新聞社東京支社様、更に森水産様、忽那醸造様をはじめ関係者の長きに渡るご尽力、ご支援にこの場を借りて御礼申し上げたいと存じます。

皆様ご承知の通り、昨年12月16日、前会長早坂暁先生のご逝去の報が故郷よりもたらされました。著名な作家であり脚本家、故郷風早の誇るべき存在でした。

最後にお会い出来たのは2015年1月11日、渋谷のお住まい。幹事一同、新年のご挨拶も兼ね100周年記念やホームページの立ち上げについてご報告とご了解を得るためでした。その際、河野水軍へのご関心やご尊父様作の俳句を紹介されながら「俳句の会」のお話など、今となっては「花へんろ」や「夢千代日記」の大正、昭和の香りとともにご生前のお姿を偲ぶばかりです。

皆様とともに心よりご冥福をお祈りいたしたいと存じます。合掌

さて、昨今の科学技術の進歩は目を見張るばかりで人工知能（AI）などに代表される知的システムの進化に我々老年世代は時代に取り残されそうです。一方で少子高齢化や人口減少の進展する中で何とか抗いながらも高縄会の永い伝統を受け継いでいかなければなりません。

幸い、より若い世代の堺、泉、立町、有馬各幹事を核に、森、渡部両副会長のご理解の下、高縄会の企画・運営について立案の上、有志の会の皆さんにも集まって頂き、意見交換・集約しながら推進しています。

従前は年1回4月の第一土曜日、上野「精養軒」での総会・懇親会が中心でしたが、同郷の集まりとして更なる発展を期して、現状、以下の事項に取り組んでいます。

1. 高縄会ホームページの更新と充実

アクセプト社長の平田実氏の多大なるご支援・ご協力を得てホームページの更新・改善を図ろうとしているところです。

会員の皆様や故郷北条からの情報発信並びに画像投稿などを通して、会員相互や故郷との情報共有・交流も出来るようになりました。

2. 故郷の関係者との交流

北条地区まちづくり協議会や風早歴史文化研究会の丸山英昭理事、西山陽一朗理事、また、愛媛新聞東京支社様からご紹介頂きました同竹島大祐理事とも交流の輪が広がり、今後は我々が知りえなかった故郷の歴史・文化や伝統、更には最新のニュースなどが紹介頂けるものと大いに期待されます。

3. 故郷の偉人の足跡巡り催行

第一弾は一昨年9月、正岡子規を訪ねて田端の大龍寺・鶯谷の笹の雪・子規庵ほか、第2弾は昨年5月、秋山真之を訪ねて横須賀海軍カレー・軍港巡り・戦艦三笠見学。

また、第3弾はこれまでと同様に既に立町幹事により5月鎌倉を予定に企画されています。奮ってご参加頂きますようにと願っています。

終わりに、若い世代の加入・参画をどのように図っていくか大きな課題でもあります。人生100年時代を迎えようとしている中、高縄会の“ありたい姿”を世代を超えて描いていきたいものです。

故郷は「山は高縄、野は風早、海は斎灘、酒は桜うづまき、雪雀、加えて湯は道後」と、まさに風早北条は豊穰のふる里です。我々の誇りでもあります。地産都消へと地域振興にいささかでも貢献できれば、これ以上のものではありません。

以上ご挨拶とさせていただきます。

2018年1月 高縄会会長 土井内 徹